

日本を元気に! 旅に出かけよう

旅行 読売

定価 440円

東京・名古屋・大阪 さんぽ

大きな地図、モデルコース付き

みんなで行こう

東北の夏まつり

大型インタビュー

田中美里さん

7

2011

浅草寺と仲見世(東京)



日本橋・銀座

【中央区】

日本橋は今年4月の架橋100年を機に、昨年洗浄されてきれいになったばかり



◀ ガイドの宮加奈子さんと船長の平山尚さん。静かな電動船なので、ガイドの説明が聞きやすい

▶ 隅田川の川面から望む清洲橋と東京スカイツリー。6月から新設されるコースで見られる



名地下鉄三越前駅B6出口の階段を上ると、すぐ前に見えるのが日本橋だ。現在の橋は明治44年に造られた19代目で、国の重要文化財。東海道など五街道の起点で、佐藤栄作首相（当時）の筆による「日本国道路元標」の文字盤が埋め込まれている。関東大震災で魚市場が築地に移るまではここに魚河岸があり、魚市場発祥の地碑も立つ。今紹介するコースでは、日本橋を渡った左の船着き場から出る「クルーズ」お江戸日本橋舟めぐりに乗る。一昨年始まった企画で、明治10年完成の常磐橋を見て、日本橋川から隅田川へ。さらに亀島川を経て日本橋に戻る約1時間の船旅だ。10人乗り電動ボートは騒音が小さく、のんびりと川面を滑る。日本橋川には「常磐橋」と「常盤橋」が架かっている。北側は「磐」の字を使うが、南側は「盤」。解説には「盤」の中の「皿」は割れやすいので、これを避けて「石」のに入った「磐」を使う橋名にしたという。また常磐橋手前の「石橋」は、両岸に後藤家の屋敷2軒があったことで、後藤Ⅱ五斗×2Ⅱ

銀座を象徴する4丁目交差点の風景。
和光の時計台が印象的だ



▶ コレド室町にある日本橋だし場。
ランチタイムにはテイクアウトのスー
プやおにぎりなども販売

▼ 日本橋三越入り口にあるライオ
ンの像は、大正3年から客を出迎え
ている



◀ 日本橋もとに
立つ日本橋魚市場
発祥の地碑



▶ 日本国道路元標
のレプリカ。本物
は日本橋の真ん中
に埋め込まれている



一石と江戸っ子のシャレで名付けられた説があるなど、色々な解説に、「へえー」の連発である。このあたりは川の真上を首都高速が走り、頭上が完全に覆われている。高速の下側を辿るのは初めての体験で新鮮な風景だ。箱崎あたりで首都高速が川から離れていくと、日本橋川に空が戻ってくる。さらに隅田川に出て永代橋の先まで遡ると、話題の東京スカイツリーが見えた。振り返れば、佃島周辺の近未来的なビル群が見える。江戸時代と現代を行き来する感覚を楽しみながらのクルーズは、アツという間だった。6月中には小名木川を中心に深川界限などを巡る新コースも登場する予定です」と舟巡りを主催する江戸東京再発見コンソーシアムの宮加奈子さん(33)が、本舟巡りのあとは日本橋周辺をぶらぶら散歩。日本橋三越本店や三井本館などの歴史的な建物と道路の反対側にそびえる、昨年誕生したコレド室町やユイトなどの現代的な建築が好対照だ。コレド室町では、カツオ節で有



モデルコース

起点 三越前駅B6出口(地下鉄銀座線・半蔵門線)

徒歩時間 約30分
2*

三越前駅

↓徒歩すぐ

日本橋船着場(滝の広場)

↓徒歩5分

コレド室町

↓徒歩すぐ

ユイト

↓徒歩すぐ

コレド室町前バス停

↓メトロリンク日本橋15分

地下鉄京橋・宝町駅バス停

↓徒歩11分

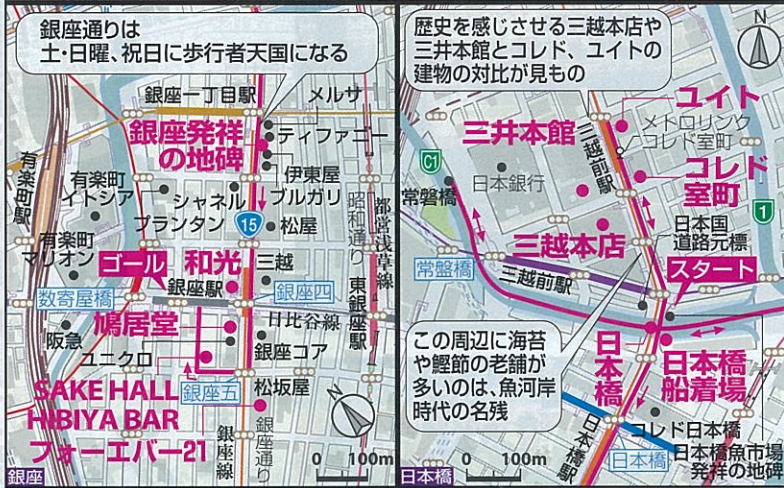
銀座4丁目交差点

↓徒歩3分

SAKE HALL HIBIYA BAR

↓徒歩2分

地下鉄丸ノ内線・銀座線銀座駅



【観光の問い合わせ】中央区観光協会 ☎03・3546・6525

▶ SAKE HALL HIBIYA BARの
カクテル「サキ・エ
スプーマ」630円
～



おすすめグルメ

D-ブラスリー&スウィートルーム

ユイト内3階。ランチのダブルハーフセットは、数種のメイン料理から2種を選んで盛り合わせたものに、サラダ、スープ、ドリンク、パンが付いて1400円。☎03・3243・0115【営業】11時～翌0時30分(日曜・祝日は～2時30分) / 無休【交通】地下鉄銀座線・半蔵門線三越前駅A9出口直結



名なになべんのシヨップ内の日本橋だし場に寄ろう。削りたて本枯れ節のだしスープ(100円)をぜひ味わいたい。お昼は3時お昼酒券昼食後はコレド室町前から無料巡回バスのメトロリンク日本橋に乗って、地下鉄京橋・宝町駅バス停で下車。中央通り(銀座通り)へ出て、銀座プラザを楽しもう。土・日曜、祝日は歩行者天国になる通り沿いには、石造りの京橋跡、往時のガス灯を再現した銀座煉瓦之碑、銀座発祥の地碑などがあり、ティファニーやシャネルなどの有名ブランドシヨップも並ぶ。さらに、銀座の象徴和光の時計台を過ぎ、鳩居堂などの老舗や、昨年松坂屋に誕生したトレンドファッション店フォーエバー21などに寄り道していると、時が過ぎるのが早い。

最後は4月にオープンした日本酒カクテル専門店・SAKE HALL HIBIYA BARで、サキニク580円などを飲んで散歩終了。だが、もうディナータイムだ。銀座はグルメの宝庫。なかなか帰途につけそうにない。